

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 武蔵野大学

1 事業の趣旨・目的

退職教員の教職の経験と、武蔵野大学の日本語教員養成教育の日本語教育の知識・経験を生かした「外国人児童に対する日本語指導者」の育成を目的とする。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
10月19日	武蔵野大学三鷹サテライト教室	堀井 恵子 種村 政男 稲谷いく子	・今後の予定について ・教材等について ・補助者について ・その他	開講にあたり、今後の講義内容を確認した。
12月7日	〃	種村 政男 稲谷いく子	・今後の予定について ・教材等について ・補助者について ・その他	今年度の講座の進捗状況について確認し、講師態勢について確認した。等
1月11日	〃	種村 政男 稲谷いく子	・今後の予定について ・教材等について	今年度の講座の進捗状況について確認し、集中講座、演習について確認した。等
2月8日	〃	堀井 恵子 種村 政男 稲谷いく子	・今期の振返りについて	今期の実施内容について、振返りを行った。

【写真】(会議風景)



3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 「外国人に対する日本語指導者養成講座」
- (2) 養成講座の目標 退職教員の教職の経験と、武蔵野大学の日本語教員養成課程の日本語指導法の知識・経験を重ね、「外国人児童・生徒に対する日本語指導者」の育成を目的とする。
- (3) 受講者の総数 8人
- (4) 開催時間数(回数) 27時間 (16回)
- (5) 参加対象者の要件 ・教員経験のある方
- (6) 受講者の募集方法○大学ホームページに募集内容掲載
 - 区・市の役所、教育委員会、図書館、文化センター等に募集チラシを郵送し広報依頼(8月)
 - 朝日新聞折込チラシ(5月)
 - 朝日新聞・読売新聞折込チラシ(8月)

(募集のチラシ等)

平成22年度 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

外国人児童に対する 日本語指導者養成講座

退職教員を対象とした日本語指導者養成

あなたの経験を日本語教育に
生かしませんか？

退職した地域の教員経験者を対象に、教員としての経験に加えて日本語教員養成教育の知識と能力を身につけて、地域の生活者とりわけ外国人児童に対する日本語教育の指導者を養成します。

■募集要項

- 期 間 ▶ 平成22年10月5日(火)～平成23年2月8日(火)
場 所 ▶ 武蔵野大学三鷹サテライト教室
受 講 料 ▶ 無料
応募資格 ▶ 教員経験のある方
募集定員 ▶ 20名

申込期間 ▶ 平成22年 8月17日(火)～9月14日(火)

申込方法 ▶ 下記問い合わせ先までお電話、FAXまたはEメールにてご連絡ください。
* ご不明な点やお申し込みにあたっての相談等も、お気軽にお問い合わせください。

詳しくは武蔵野大学ホームページをご覧ください。

裏面もご覧ください。

 **武蔵野大学**
MUSASHINO UNIVERSITY
— Linking Thinking —

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211
開室日：月～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)
e-mail nihongo@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 社会連携センター
〒202-8586 東京都西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

平成22年10月開講

「外国人児童に対する日本語指導者養成講座」概要

Curriculum カリキュラム

講義	週1回	火曜日	12:30～14:00	(平成22年10月5日～26日)
ワークショップ	週1回	火曜日	12:30～14:00	(平成22年11月2日～平成23年2月8日) ※平成23年2月8日のみ12:30～17:30

Program プログラム

	日程	概要
講義 (90分×4コマ)	平成22年10月5日	オリエンテーション、 外国人児童と多文化共生社会〔90分×1コマ〕
	平成22年 10月12日、19日、26日	外国人児童生徒の現状〔90分×3コマ〕
ワークショップ (90分×11コマ)	平成22年 11月2日、9日、16日、30日、 12月7日、14日、21日 平成23年 1月11日、18日	外国人児童・生徒のための日本語教育 外国人児童・生徒のための日本語教授法 外国人児童・生徒のための日本語教材 〔90分×9コマ〕
	平成23年1月25日	異文化コミュニケーション実習〔90分×1コマ〕
	平成23年2月1日	プレゼンテーション準備
	平成23年2月8日	プレゼンテーション、まとめ、意見交換 〔4.5時間×1コマ〕



武蔵野大学
MUSASHINO UNIVERSITY

—Linking Thinking—

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211
開室日：月～金曜日 9:30～18:00 (祝日を除く)
土曜日 9:30～15:30

武蔵野大学 社会連携センター
〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

(7) 研修会場

- ア 講義 武蔵野大学三鷹サテライト教室
イ 実習 武蔵野大学三鷹サテライト教室

(8) 使用した教材・リソース

- オリジナルプリント
○凡人社『日本語教育への扉』堀井恵子著

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
10月5日(火) 12:30～ 14:00	オリエンテーション 外国人児童と多文化 共生社会／ 講座の目的・講座の 流れを説明。講師、 受講生の紹介。	武蔵野大学教授 堀井 恵子	8名
10月12日(火) 12:30～ 14:00	外国人児童生徒の現 状／ 外国人児童生徒の現 状を解説	NPO 法人・西東京市多文 化共生・国際交流センター 理事 種村 政男 たぶんかフリースクール講師 倉松 淳子	5名
10月19日(火) 12:30～ 14:00	外国人児童生徒の現 状／ 外国人児童生徒の現 状を解説、日本語教 授法の解説	武蔵野大学教授 堀井 恵子 たぶんかフリースクール講師 倉松 淳子	7名
10月26日(火) 12:30～ 14:00	外国人児童生徒の現 状／ 外国人児童生徒の現 状を解説、日本語教 授法の解説	山梨英和大学非常勤講師 稲谷いく子	8名
11月2日(火) 12:30～ 14:00	外国人児童生徒の現 状／ 外国人児童サポート	武蔵野大学教授 堀井 恵子	7名

	の問題点を解説、日本語教授法の解説、		
11月9日(火) 12:30~ 14:00	外国人児童・生徒のための日本語教育／ 外国人児童サポートの問題点を解説、日本語教授法の解説	NPO 法人・西東京市多文化共生・国際交流センター 理事 種村 政男	6名
11月16日(火) 12:30~ 14:00	外国人児童・生徒のための日本語教育／ 外国人児童サポートの問題点を解説、日本語教授法の解説、 教材作成	山梨英和大学非常勤講師 稲谷いく子	7名
11月30日(火) 12:30~ 14:00	外国人児童・生徒のための日本語教育／ 多読・リライトについて 解説	武蔵野大学教授 堀井 恵子 NPO 法人 日本語多読研究所 理事長 栗野 真紀子	6名
12月7日(火) 12:30~ 14:00	外国人児童・生徒のための日本語教育／ 多読・リライトについて 解説	NPO 法人・西東京市多文化共生・国際交流センター 理事 種村 政男 NPO 法人 日本語多読研究所 理事長 栗野 真紀子	6名
12月14日(火) 12:30~ 14:00	外国人児童・生徒のための日本語教授法／ 日本語教授法の解説、 リライト・ワークショップ	山梨英和大学非常勤講師 稲谷いく子 NPO 法人 日本語多読研究所 理事長 栗野 真紀子	6名
12月21日(火) 12:30~ 14:00	外国人児童・生徒のための日本語教材／ 多読とは、リライトとは、 について解説	武蔵野大学教授 堀井 恵子 NPO 法人 日本語多読研究所 理事長	6名

	リライト教材作成	栗野 真紀子	
1月11日(火) 12:30～ 14:00	外国人児童・生徒の ための日本語教材／ 多読とは、リライトとは リライト教材作成	NPO 法人・西東京市多文 化共生・国際交流センター 理事 種村 政男 NPO 法人 日本語多読研 究所理事長 栗野 真紀子	6名
1月18日(火) 12:30～ 14:00	外国人児童・生徒の ための日本語教授法 遊びから学ぶ日本語 ／ 日本語教授法の解 説、	山梨英和大学非常勤講師 稲谷いく子 たぶんかフリースクール講師 倉松 淳子	6名
1月25日(火) 12:30～ 14:00	外国人児童・生徒の ための日本語教授法 遊びから学ぶ日本語 ／ 日本語教授法の解 説、	NPO 法人・西東京市多文 化共生・国際交流センター 理事 種村 政男 たぶんかフリースクール講師 倉松 淳子	5名
2月1日(火) 12:30～ 14:00	外国人児童・生徒の ための日本語教授法 ／日本語教授法の 解説、、プレゼンテー ション準備	山梨英和大学非常勤講師 稲谷いく子 たぶんかフリースクール講師 倉松 淳子	6名
2月8日(火) 12:30～ 17:30	プレゼンテーション 意見交換 講座のまとめ	武蔵野大学教授 堀井 恵子	5名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

講座の最終日にアンケートを実施した。ほぼ全員が①外国人児童生徒の現状 および②外国人児童生徒をサポートするポイントについて、「理解が深まり、意義の深い講座であった」と答えている。また、日本語指導と国語教育とは違うということが判った、と答えている。

② 実施主体からの研修内容結果評価

国語教育と日本語教育の違い、外国人児童生徒の視点から見た学校・教室などについては、教師経験のある者として多くの気づきがあったことが振り返りで述べられていた。また、振り返りを行うことで、受講者は今までの教育力の上に、新しい引き出しを積み重ねられたに違いない。本講座で学んだ事柄が現場で活かされることを願っている。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

受講者からの希望でもある ML のネットワークを作り、受講者が個々ではなく、つながりを持って歩んでいけるよう支援する。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

本学のある西東京市には西東京市多文化共生・国際交流センターを中心に 7 つのボランティア団体があり、9 箇所の日本語教室を開いている。また、武蔵野市では、武蔵野市国際交流協会の日本語学習支援活動が展開されている。周辺地域と連携しながら外国人児童に対する日本語指導者を育てていく。

今年度については、西東京市多文化共生・国際交流センター所属講師をお招きした。また、西東京市役所より、授業見学に来られた。

② 研修後の人材活用

受講者の中には、すでに地域で活動をしている方もおり、今回の経験を生かして、更なる活動の発展を支援したいと考えている。今後、活動を行っていく方には、ネットワークを作り、情報を共有しながら相互にサポートの輪広げられるよう支援していきたいと考えている。

(12) 今後の課題

受講生への継続サポート、及び修了後の人材活用を組織的かつ継続的に行う体制を確立させることが課題となる。行政も含めた、公共機関他団体が、外国人サポートをする人材を養成し、外国人にとってどこに行けば出会えるのか公開し、サポートする側とサポートされる側とを紹介する機関を設けることが必要なのではないか。